

KGA

'02春季号
2002年5月1日発行

NO.78

目次

総会 平成14年度 活動方針	1
ジュニアスクール	3
対談 小宮山総務委員長・高橋広報委員長 KGAGolfer'sカード	6
特別レポート 中国ゴルフ事情	11

新規加盟倶楽部紹介	15
総会・理事会・分科委員会	18
月例競技成績表	27
お知らせ	28

表紙Photo KGA春季ジュニア・ゴルフスクール
鷹之台カンツリー倶楽部（撮影：渡部義一）

 関東ゴルフ連盟

総会

総会

平成14年度 活動方針

第54回関東ゴルフ連盟総会は、平成14年2月20日、ホテルニューオータニにおいて開催されました。出席は加盟492倶楽部中、委任状を含め319倶楽部でした。第1号議案として、福田彰理事長より13年度事業報告および14年度活動方針が示され、満場一致で承認可決されました。



左より尾間秀夫副理事長、福田 彰理事長、古賀 始副理事長

① ゴルフ界の現状とKGAの責務

新世紀の幕明けは、これといって明るい話題に乏しい一年でした。

ゴルフ界に目を向ければ、平成13年はゴルフ100年とはいうものの、入場者は依然として減少傾向にあり、預託金の返還請求の増加、民事再生法による法的整理の増加、といったように全体に活力は見られませんでした。

このような状況下、ゴルフ界は多くの課題を抱え、混迷の中で新年を迎ました。

とはいっても、私たちはゴルフ界の未来を信じ、悪条件下とはいえども、KGAの責務は果たさなければなりません。

KGAの唯一無二の責務は健全なゴルフ振興策を図り、ゴルファーの増大を目指すことであります。しかし、このことはKGAだけでは成し遂げられません。加盟ゴルフ倶楽部、他地区連盟、日本ゴルフ協会といった、あらゆるゴルフ関連団体の力を結集してこそ実現可能であります。

② 組織、財政、事業

私は、ゴルフ界の大同団体を訴えましたが、具体的にはJGAを頂点とする地区連盟、各都県ゴルフ団体の組織の一本化であります。各都県においては、各種ゴルフ団体（KGA加盟倶楽部、非加盟倶楽部、アマチュア競技団体、高ゴ連、支配人会、練習場）が団結し、「連合体、協議会」的組織を結成いただき、KGAと密接な関係を結び、歩調を一にしていただることであります。都県それぞれ固有の問題を抱えておりますが、明日のゴルフ界のために、小異を捨て大同についてほしいと切望いたします次第です。

●財政

後刻、ご提案する平成13年度決算を見る限り、KGAの財政状況は一見、問題ないように思われます。しかし、長期的に見た場合、全経費を苦境にさらされている皆様の、加盟倶楽部年会費だけに頼ることは避け、新たな財源確保を提案し、可能



都県別に着席し熱心に討議する俱楽部代表者

な限り、俱楽部負担を軽減しなければならないと考えております。新たな財源の一つは懸案になっております、いわゆる入場者割年会費であります。入場者に「ゴルフ振興金」として、一定額の提出をお願いすることあります。

第二は、個人会員制度の確立であります。その第一歩として、今年度「KGA Golfer'sカード」(提携クレジットカード)を発行したいと考えました。このカードは、ゴルファー、ゴルフ場、KGAに各々メリットのある内容にしてあります。

2000年「レジャー白書」によれば、ゴルフ場における支払いは、その70%がクレジットカードによると報告されております。問題はその手数料でありますと、各々のゴルフ場により異なっておりますが、KGAの調査では、1%~2%となっております。交渉の結果、特別手数料率をもって提携することが可能となりました。

ゴルファーにとってのメリットは、安心してプレーできる各種保険を付けることによって、他のカードとの差別、区別化を果たすことができます。

KGAには、カード・ホルダー獲得数、年会費、使用額によるキックバックが収入となります。

詳細な内容は後日お手許にお届けいたしますが、要は一人でも多くのゴルファーにカード・ホルダーになっていただくことであり、そのためには、全加盟俱楽部のメンバー、来場者に働きかけをいただくことになります。

●事業

冒頭、申し上げましたように、すべてのKGAの事業は、ゴルフ振興策、ゴルファー増大のための事業でありますと、今年度の重点事業といたしま

- して、
- 1. G-sys (JGAハンディキャップ査定パソコン)のCD-ROMの無料貸与
- 2. KGAホームページの開設
- 3. 提携クレジットカードの発行

を提案いたします。これらの三つの事業は、これから提案する平成14年度予算に計上されております。

また、ジュニア育成、主催競技、コース・レート査定は引き続き、継続して実施いたします。

とくにコース・レート査定事業は、平成15年より女子ハンディキャップ実施が、JGAハンディキャップ委員会にて決定されていること、15年以上経過したコースの再査定を控えていることなど、従来にまして、活動が活発になると思われます。

以上、組織、財政、事業について私の所信を述べさせていただきました。

皆様方のご協力、ご尽力を心からお願いする次第であります。

(写真 舟橋一芳 KGA広報委員)



総会終了後は、懇親昼食会

KGA 春季ジュニア・ゴルフスクール

親たちも考え方

文・吉川英明 (KGA広報委員)
写真・渡部義一

かせていくのかが、重要な課題になっていくだろう。

その意味からも、最近、子供たち本人の教育育成に加えて、親たちの啓蒙も必要だという声が、ジュニア育成委員の間で高まっている。

初級者対象ということで小学生の多い、ノーザン錦ヶ原を取材した。

参加者は109人の申し込みに対して、欠席者21人の88人。平均の欠席率は10パーセントだというから、欠席者がやや多かった。これは生憎の雨も影響したのだろう。

折悪しく、コースの一部が工事中で練習場が使えないため、いきなり4ヶ所からのラウンドレッスンとなった。

技術面の指導に協力してくれるのは、竹間正雄



午前8時間講式 班ごとに整列して諸注意を受ける



打放し練習場 なかなかうまく当らない



低学年には女子プロが同行



高校生ともなると、いっぽしのゴルファーぶり

プロ、須崎平吉プロ、船渡川育宏プロらのベテランや女子プロ2人を含めた12人で、まずティーアップの仕方から始まって、危険防止のための周囲への気配りまで、まさに手取り足取りのレッスンだった。

背丈と同じくらいのバッグを担いだ子供たちは、次第に強まる雨脚の中、嬉々としてコースに出て行った。

だが、空は暗くなる一方で、気温も下がってきたため、11時にラウンド中止、昼食の後ビデオを使った講義に切り替えた。

子供たちは残念そうだったが、子供たちがビデオを見ている間、親たちと、プロ、育成委員との対話集会という思わぬ時間が取れた。

まず須崎プロが立って、はじめから競技志向ではなく、まずゴルフの楽しさを教えてほしい、どうしたら楽しくゴルフが出来るかを考えてやつてほしいと親たちに要望した。

統いて船渡川プロの技術面からの話があり、全般にスイングを作りすぎる、ボールを打つということを忘れている、お父さんの生半可な指導の悪い面が出ているという指摘だった。付き添いの中には父親の姿もかなり見え、どうです



我流のスイングのため、球は思わぬ方向

こうした機会が持てたのは思わぬ収穫だった。

集会の前、小学生6年生の女の子を是非とも一流プロに育てたいと私に熱っぽく語っていたある母親は、競技志向ではなく、まずゴルフの楽しさを、と説く船渡川プロの言葉にちょっとした戸惑いを見せていたが、あまりの競技志向は、去年、いくつかの事例があった子供への暴力沙汰に結びつく。

自分の子供をどう育てようが、躊躇しようが親の勝手だと言われてしまえばそれまでだが、一つ許せないのは、そうした体罰を他の子供たちや関係者の面前で与えることだ。それでは子供は萎縮していくばかりだろう。そしてゴルフが嫌になる。

一流プロへという親たちの願いからくる行き過ぎと、人間として優れたゴルファーを育てようというKGAジュニア育成の理念……このギャップを

平成13年度 平成14年度 KGA春季ジュニア・ゴルフスクール実績表（名）

平成14年4月2日

会 場	H	定員	開 催 日	申 込 者	欠席(内無断)	出 場 者	委 員	男 子 プ ロ	女 子 プ ロ		
1 セントラル	18	150	H14 3月22日(金)	86	8	78	4	8	2		
			H13 3月23日(金)	97	8	89	2	8	0		
			前年度比	-11	0	-11					
2 我 孫 子	18	150	H14 3月25日(月)	106	6	100	10	8	2		
			H13 3月26日(月)	80	11	69	14	10	2		
			前年度比	+26	-5	+31					
3 桜 ケ 丘	18	150	H14 3月25日(月)	143	13	130	17	12	2		
			H13 3月26日(月)	132	12	120	14	10	2		
			前年度比	+11	+1	+10					
4 鷺 之 台	18	150	H14 3月25日(月)	83	11	72	7	8	2		
			H13 3月26日(月)	97	13	84	12	8	2		
			前年度比	-14	-2	-12					
5 ノーザン 錦 ケ 原	18	150	H14 3月29日(金)	109	21	88	12	12	2		
			H13 3月30日(金)	111	9	102	14	10	2		
			前年度比	-2	+12	-14					
6 茨 城	18	150	H14 4月 1日(月)	150	18	132	14	10	3		
			H13 4月 2日(月)	104	9	95	12	11	2		
			前年度比	+46	+9	+37					
7 佐 倉	18	150	H14 4月 1日(月)	親38子38	親2子2	親36子36	9	10	2		
			H13 4月 2日(月)	親66子66	親8子8	親58子58	8	6	1		
			前年度比	-28組	-6組	-22組					
合 計			H14	677 親子38	77 親子2	600 親子36	73	68	15		
				715名(組)	79名(組)	636名(組)					
			H13	621 親子66	62 親子8	559 親子58	76	63	11		
				687名(組)	70名(組)	617名(組)					
			前年度比	+28名(組)	+9名(組)	+19名(組)					



かなり練習をつんでいるのか見事なアプローチショット

埋め、子供たちの間に伸び伸びとしたゴルフを浸透させるためには、親たちとの対話を繰り返し、この問題をじっくりと考えてもらう機会がもっと必要だろう。



ゴルファーのための 「KGA Golfer's カード」 誕生



高橋正孝広報委員長

対談者

小宮山義孝総務委員長

ゴルファーが安心して利用できるクレジットカード「KGA Golfer's カード」が発行される。このカードには、ゴルファーにとって必要なあらゆる保険（賠償、傷害、用品、ホールインワン）が自動付帯されており、他のカードにはない大きな魅力となっている。

すでに全加盟倶楽部で会員（カード・ホルダー）の募集を開始しており、大きな反響が寄せられている。

KGAはこの事業を次の2社と協同して行う。

●株式会社ダイエーオーエムシー

設立 1950年9月11日

資本金 428億600万円

有効会員数 672万枚

カード取扱高 業界ランキング 第6位

●ソラン株式会社

（旧社名株式会社MKCスタッフ）

設立 1970年6月5日

資本金 68億78百万円

※関東ゴルフ連盟計算センターを置き、JGAHdcpの査定を行っている。今回はカード事務センターも設置。

高橋 今日は小宮山総務委員長に、KGA Golfer's カードについてお話を承ることにいたしました。この件につきましては、2月にKGAの総会で承認を得、その後、事務局で各都県単位の説明会を開

き、4月からスタートしておりますね。

まず、このカードの生い立ちですが、どこからこのアイデアが出されて実現化したか、簡単にお話し下さい。小宮山委員長は、今まで1次から3次までの特別委員会と、その後の改革実行委員会、それから現在の総務委員会の委員長をなさっているわけで、その意味でこのカードの責任者とも言えますね。

小宮山 今、ご説明をいただきました特別委員会そのものが、一体なぜできたかといいますと、KGAにおける財政が、当時はたしか赤字に転換しつつあるということと、バブル崩壊後のゴルフ業界は大変落ち込んできて、なかなか新規加盟倶楽部が増えない、または退会をせざるを得ない倶楽部も出てくるといった中で、組織、財政の両面において、先のことを何とか見据えなければいけないのではないかということから始まったわけです。

その後、幾つかの合理化計画も出ましたが、例えば良し悪しは別として関東オープンの中止もその一環と言えましょう。

ご存じのとおり、関東ゴルフ連盟の財政基盤というのは、すべて加盟倶楽部の年会費によって賄われていますが、今後、このまま続けていくと、そういうものにさらに重点を置くことができなくなってくるのではないか、何か関東ゴルフ連盟としても違った意味での収益事業を手がけなければいけないのでないかという中で、沸々と

湧いてきたのがこのカード発行事業と言えます。

数字的な背景を説明しますと、現在加盟倶楽部数は492メンバー数は40万人と推測されます。そして、関東地区のゴルファーは300万人でしょうか。この方たちが加盟倶楽部でプレーをし、このカードでお支払いいただくことにより、ゴルファー、ゴルフ場にとってもメリットが生じる。時代のニーズといいますか、そんな環境になりつつあるとも言えます。

高橋 ゴルフの振興に結びつけるという一番大きな目的にもつながりますね。

小宮山 そうですね。それと、先ほども申しましたとおり、これからのKGAとしても倶楽部の年会費だけ運営していくのも大変になりますので、その部分を幾らかでも比重を下げていくということに貢献できるのではないかと考えます。

高橋 そういったようなKGAの財政基盤の強化ですね。これの付随的な効果というと、例えばどんなことがございましょうか。例えば、こういうカードを導入することによってゴルファー層が拡大できるとか。

小宮山 まだ第1段階ではなかなかそこまでいくかどうかはわからないのですが、いずれにしましても、先ほども言いましたように、40万人の会員もありますから、最終的に加盟倶楽部にも大変メリットがあり、それからKGAの財政基盤にもつながり、そしてゴルファーのニーズに合致した内容にいたしました。

高橋 なるほど。それぞれの立場でのメリットといったものが見込めるということで、実現に踏み切られたわけですね。

小宮山 ご承知のとおり、いろいろなクレジットカードが出てきていますが、そういう中で、特にKGA Golfer's カードはゴルファーのニーズにマッチしたサービスの提供というものを一番に挙げています。例えば、皆さん大半の方はお入りにな

っているんですけども、ホールインワン保険とか、ゴルフ場への往復は大半のゴルファーはお車でいらっしゃいますので、ロードサービスというのも付けました。またノンクラブメンバーの方にはJGAハンドィキャップが取得できるようにしました。あくまで、サービスの特典は、ゴルファーに魅力のある内容となっております。

高橋 当面どのくらいの会員（カード・ホルダー）を目指してますか。

小宮山 初期段階では最低、今おしゃった会員数の1割、4万人は目標にしていきたいと思っています。ただ、このカード・ホルダーになる方は、必ずしもメンバーでなくても、ノンメンバーの方も入れますので、それらを含めての数字です。

高橋 例えば、そういういろいろなインセンティブがあるのならば、各倶楽部の従業員でも入ってみたいという人が出てきた場合にも構わないのでしょうか。

小宮山 ええ、カード・ホルダーにはどなたでもなれます。これはぜひ、役員の方はもちろんのことですけれども、従業員の皆さんにもカード・ホルダーになっていただきたい。カードサービスそのものは他のカードに比べて何ら遜色もありません、ゴルフ関係者にはこのカードに切りかえていただくと、大変お互いにメリットがあるということになります。

高橋 そういたしますと、第1ステップとしては、加盟倶楽部中心ですが、将来的には全てのゴルファーを対象とするとなりますと、都県単位といいましょうか、都県アマチュア競技団体にも働きかけることになりますね。

小宮山 おしゃるとおりですね。

高橋 ところで、この入会資格と入会方法ですが、どうなっておりますか。

小宮山 審査基準がありますと、例えばゴールドカードですと、30歳以上で、収入が500万以上で、

勤続年数が5年間以上という基本的な基準があります。それから、一般カードと高校生を除く、18歳以上で電話連絡が可能な人とか、そういう条件がつきます。それはカード会社のほうで審査をいたしますが、まあほとんど通ると思いますね。

高橋 次に、先ほどのいろいろな特典ですが、KGA Golfer's カードの特典として特に強調できるものはなんでしょうか。

小宮山 一番はやはり、ゴルファーが安心してプレーできるあらゆる保険が、このカードに付帯しているということです。具体的には、賠償責任、それから傷害、ゴルフ用品の破損、ホールインワン、それからゴールドのほうですとロードサービス、国内・海外の旅行の保険、それから買い物をした商品の物損があった場合の保険、そういうものが全部付いているわけです。

高橋 なるほど。具体的な例で言いますと、大体カードの年会費というのは一般カードが1,000円～2,000円、ゴールドカードは1万円が相場なわけですがけれども、ゴルファーはその他にゴルファー保険にまた別に入っているわけですね。これが、平均で1万円ぐらいでしょうか。そうしますと、このカード・ホルダーになりますと別に払わなくても、このカード年会費の中に自動的に付帯されていますから、そういう意味では非常に得になりますね。これはゴルファーへの一番の大きなメリットだと思います。

小宮山 ですから、KGAの役員、委員さんが今350人いるわけですけれども、ほとんどこれに切り替えると思います。委員諸氏はみんなゴルフが上手ですから、たいていゴルファー保険に入って1万幾らを負担しておりますが、今度はKGAカードに替えるとその必要がなくなる。これは大きなメリットでしょうね。

高橋 次に、ゴルフ場としましては、カード会社と加盟店契約を結ぶということになるわけですが、

このゴルフ場としてのメリットに触れていただければと思います。

小宮山 大きな意味で言いますと、今、ほとんどのゴルフ場では、カードの支払いが大体40～50%ぐらいでしょう。そういう中で、一般的には大体カードの手数料をゴルフ場は取られるのですが、これは県によって異なりますが、高いところで2%、安いところで1%ぐらいですね。今度、このカード会社（ダイエーオーエムシー）と契約をしていただきますと、大変格好な特別料率になります。ゴルフ場側にとって、トータルで経費の節減につながります。

もう1つは、このカードだけの問題ではないのですが、今、ゴルフ場側で大変困っているのは、現金収入も多いのですけれども、かつてはその地域の信用金庫や銀行が集金に来てくれたんですが、今はこのサービスはほとんどやっていただけないんです。それで、従業員が毎日、現金をどこかに運ばなければいけないということで、この時代に大変危険が伴ってきます。そういう面でも、このカードが普及してきますと、そういう面の苦労がなくなってくるというのも大きなメリットだと思います。

高橋 ただいまのお話で、ゴルフ場にとりましても極めて大きなメリットがあるということですので、非常にこの点でも画期的なものと言えますね。

それでは次に、こういったカードシステムを導入するに当たりまして、KGAの財政面でどういうような効果が将来出てくるのか、この辺について若干触れていただければと思います。

小宮山 私どもは、今も事務局を始めとして、各都県単位とか、支部会とかを通じて普及を図っております。この普及に対して加盟をすれば、その販促費という面での一種の手数料が入ってまいりますし、今後、さらにカード・ホルダーの方がお使いになった金額に応じて、やはり販促費とい

うような形の手数料が入ってきますので、この分が収入になってきます。

高橋 ところで、会員になる場合に、先ほどダイエーオーエムシーという会社の話も出てまいりました。それから、カードのサンプルを見ますと、VISA、Master Card、JCBという名前が出ているわけです。このカードの仕組みを、ちょっと簡単にわかりやすくお話しいただけますでしょうか。

小宮山 VISA、Master Card、JCBのブランドとオーエムシーの間の契約というのは我々は関知しないことなんですが、オーエムシーが、3社（VISA、Master Card、JCB）のブランドを売っていくということです。また、オーエムシーという会社が、KGAに一種の販売権を与えるという格好で、1つのKGA Golfer's カードというブランドができることがあります。

それで、カード・ホルダーになる方は、実際はKGA Golfer's カードなんですが、そのVISAカードなのか、Master Cardなのか、JCBカードなのか、これをご選択していただくということになります。それは、それぞれのカードの持つ特典で動いていくということになります。もちろん、これはちょっと誤解がないように申し上げますが、このカ



ドはゴルフ場だけではなくて、これまでのカードと同じで、世界中でどこでも使えます。それに足して、KGA Golfer's カードのほうは、ゴルファーのニーズに合わせた特定のサービスが付け加えているということです。

高橋 そうしますと、カード会員になった人のところには、例えば使用明細であるとか、ポイントの積立状況とか、これはVISAなりMaster Cardから連絡をするのですか、それともオーエムシーからですか。

小宮山 オーエムシーから郵送されます。

高橋 次に、カード会員を獲得して、これをふやしていくことになると、カード会員に対してのコミュニケーションとか、それからまた、未加入の方々に対してのPR活動というのも必要になってくると思いますが、今後、どういうような方向で進めますか。例えば、KGAでインターネットのホームページを立ち上げようとかという話がありますが、なるべく早く立ち上げ、これを通じてPRするとか。

小宮山 おっしゃる通りですね。実際は我々も立ち上げまではやってきたんですけども、本当はやはり収益事業になりますと、もうちょっと真剣というか、突っ込んでPRをする必要がありますので将来は専門委員会を設置する必要があると思います。

高橋 広報誌だけではなかなか難しいので、やはりカード会員のための会報みたいなものが必要になってくると思うんです。

小宮山 その辺の媒体として、やはりインターネットのホームページが重要な存在になってくると思うんです。そこまでを視野に入れて考えないといけない。立ち上がりは、各個別俱楽部の支配人さんを中心にカード・ホルダーを集めてもらうわけですけれども、そこから先は、やはり今の時代ですからインターネットのホームページを活用し



て呼びかけるようにしないといけないと考えてます。本当に、できればこういう事業を拡大するためのスタッフをある程度そろえないと難しいのではないかと思いますね。

やはり支配人会にしても、支配人会の顔は、どうしても俱楽部の理事会とか経営会議に向いてしまっているわけです。そうすると、そこでの方向にある程度左右されてしまう。そこで、やはりKGAとしての意思を直接伝えるような形でいたたかがよろしいような気もするんですよね。「KGAニュース」ももちろん有力な媒体ですけれども、ほかのゴルフ雑誌を使っても、KGAカードというのがあるんだということをやっていかないと、ちょっと。新しいゴルフ場は比較的にメンバーとの人間関係が希薄ですから、支配人だけ頼りにはできない。そうなると1俱楽部150人のカード・ホルダーを集めるのは難しい。

高橋 例えは加盟俱楽部の会報に広告を定期的に載せてメンバーにKGAから直接PRすることも考えられますね。それと、やはりゴルフの専門誌も媒休として考える。

小宮山 ええ。この事業のためのある程度の販促費はかけてもいいのではないかと思っております。

KGAのメリットは、まるまる残りはしませんが収入としてはまず年会費が入るわけです。それから、会員獲得の報奨金が1名当たり幾らとあります。それが、そういったものを原資としていろいろバリシティその他、やることになると思うんです。

高橋 まず、やはり先行投資的な販促費の支出というのは、どうしても必要ではないかと思うんです。場合によっては、広報費予算の、例のインターネットのホームページの予算を削ってこういった費用に回すとかですね。これは本当に、最初にきちんとやっておかないと。

小宮山 やはり、カード・ホルダーになる人たちにメリットを声を大きくしてPRする必要があるとすると、支配人の力に頼るのは限度がありますよね。委員会とか理事会への「お願い」ベースになってしまふから。

高橋 それぞれの俱楽部でも、仮に理事や委員を対象にするとしましても、こういう人数というのはせいぜい50人かそこらですよね。

小宮山 おっしゃるとおりです。それに、アクティブな会員も300人ぐらいじゃないでしょうか。ですから、俱楽部側のピーアールとダブっても、やはりストレートにゴルファーに働きかけることが必要になる。その辺の方策が一番大切になりますね。KGAの今までの収益事業はオープン関係だけでしたから、こういう事業はやったことがない。考え方を変えて、もう一回見直して、販促といいますか、マーケティングをしないとだめだと思います。

高橋 いずれにしましても、これを成功させることで、今後のKGAの財政基盤が強化される、それにつれて新しい事業も可能になってくるわけなので、是が非でもこれは成功させなければならないという事業ですね。

小宮山 ゼひとも、これはゴルフの振興につながることですし、KGAとしても直接プレーヤーに何

かのサービスといいますか、奉仕といいますか、そういうものをやっていくということになりますし、また、この不況下においての俱楽部にとりましても、大変な経費の節減につながり、ひいて

は、KGAの財政基盤強化につながってくる。ぜひとも皆様のご協力をいただいて、本当にすばらしい、皆様に喜んでもらえるカードシステムというものを構築していきたいと思っています。



KGA Golfer's カードサービス

■一般カード(年会費3,000円+消費税)

ゴルファー保険自動付帯
※家族カードには付帯されません。
■賠償責任(1億円) ■傷害(300万円) ■用品(10万円) ■ホールインワン(10万円)

ポイントプレゼント
■カードショッピング: 1,000円で1ポイント ■交換ポイント数: 200ポイント~ ■ポイント有効期限: 1年間
■交換賞品: スポーツ券、図書券、ダイエーグループ商品券、OMCギフト旅行券、JAL(登録料5,000円)、JASのマイル交換

ゴルフ用品割引
※カード利用に限り
【メーカー希望小売価格より10%割引】
●ジーロップ直営ショップ
●ブリヂストン直営ショップ
●ミズノ直営ショップ
【店頭価格より5%割引】
●ニ木ゴルフ全店

ETCカード
■無料付帯(本会員のみ任意で発行可能)

カード紛失・盗難保険
■お届けから60日間さかのぼって損害を全額又は一部補償
●年中無休24時間オペレーターがお応え

■GOLDカード(年会費10,000円+消費税)

ゴルファー保険自動付帯
※家族カードには付帯されません。
■賠償責任(1億円) ■傷害(500万円) ■用品(20万円) ■ホールインワン(50万円)

ポイントプレゼント
■カードショッピング: 1,000円で1ポイント ■交換ポイント数: 200ポイント~ ■ポイント有効期限: 2年間
■交換賞品: スポーツ券、図書券、ダイエーグループ商品券、OMCギフト旅行券、JAL(登録料5,000円)、JASのマイル交換

ゴルフ用品割引
※カード利用に限り
【メーカー希望小売価格より10%割引】
●ジーロップ直営ショップ
●ブリヂストン直営ショップ
●ミズノ直営ショップ
【店頭価格より5%割引】
●ニ木ゴルフ全店

ETCカード
■無料付帯(本会員のみ任意で発行可能)

カード紛失・盗難保険
■お届けから60日間さかのぼって損害を全額又は一部補償
●年中無休24時間オペレーターがお応え

ロードサービス自動付帯
■お車のトラブルの際に平均30分で駆けつけます
●キーの閉じ込み時の鍵開きサービス ●バッテリー上がり時のジャンピングサービス ●レッカーアートのけん引(5kmまで)
●タイヤのトラブルの応急処置 等

メディカルコールサービス
■健康相談、介護、治療など相談を受付けるサービス
●24時間電話で受付け(相談無料) ●全国の施設を紹介(紹介無料)

【国内旅行傷害保険】	
傷害による死亡・後遺障害の場合	5,000万円
傷害、疾患による治療費用、救助者費用	200万円
掛品損害(免責3,000円)	50万円
賠償責任	3,000万円

※国内旅行傷害保険の適用はカードでの国内旅行商品を購入頂いた場合となります

ショッピング保険の自動付帯
■1品1事故につき 1~100万円
■1品1事故につき3,000円の自己負担となります。 ●一部適用外の商品があります。

サービス比較表

項目	KGA Golfer's GOLD カード	他社の例
カード年会費	●本会員10,000円	●本会員10,000円 (J社ゴールド・U社ゴールド・D社ゴールド・N社ゴールド・A社一般カード)
ゴルファー保険	●自動付帯 ⇒無料 (保障内容) ■賠償責任(1億円) ■傷害(500万円) ■用品(20万円) ■ホールインワン(50万円)	●N損害保険会社の商品 (保障内容) ■賠償責任(1億円) ■傷害(510万円) ■用品(30万円) ■ホールインワン(50万円)
ロードサービス	●自動付帯 ⇒無料 ●サービス拠点 ⇒6,000ヶ所 (サービス提供)翼システム㈱	●Jロードサービス会社の場合 ⇒入会金2,000円 ⇒年会費4,000円 ●サービス拠点 ⇒2,000ヶ所



ブームを抑えつつある 中国ゴルフ事情

レポート 堀田敏夫(深圳ゴルフクラブ副理事長)

■急増するゴルフ場 ■

中国でのゴルフ場の開場は、この5年間でかなり急増しています。現在全国で100近くゴルフ場があり、中国各省には殆どあるようです。中でも南方の広東省が最も多く約40のゴルフ場が開業しています。特に香港に隣接する深圳地区には深圳ゴルフ、サンドリバーゴルフ、ミッションヒルなど8つのコースがあります。香港から1時間ないし1時間半位で目的地に到着しますので、香港からのゴルファーで賑わっています。

コース設計は外国の一流プロ或いは、一流設計家に依頼していますので公式競技にも充分使用できると思われるレベルのコースもあります。

■ゴルフ人口も増大 ■

中国には中国ゴルフ協会が早くから設立されており、下部組織として各省、市にゴルフ協会があり、しっかりした組織運営がなされているようとして、ゴルフ振興には大変熱心でありレベルアップに力をいれているように見受けます。近い将来

優秀なゴルファーがたくさん育ってくるでしょう。

先の広島のアジア大会には中国もゴルフ競技に参加し好成績を残しています。この当時の選手が今は中国のトッププロ選手として活躍しています。

今のところ中国のゴルフ場でプレイするゴルファーの多くは、香港に隣接する深圳及びその周辺のゴルフ場などで、香港からのプレイヤーや外国人から駐在員のプレイヤーが多く占めています。しかし、最近は様子が変わり中国人プレイヤーがどんどん増えてきています。中国ゴルフ協会も積極的に全国的なアマチュア競技開催を支援しており盛んに行われています。また技術的にも著しく進歩しています。

■ゴルフコースの初オープンは1985年 ■

中国で最初にゴルフ場が開業したのは1985年であり、私がメンバーでもあります深圳ゴルフクラブ、中山温泉ゴルフクラブ、珠海ゴルフクラブ(日系)の三つのゴルフ場が広東省の深圳市及び珠海市にでき、既に16年の歴史を持っています。

数年前より香港もゴルフブームとなり、ゴルフ

アーチの多くが中国のゴルフ場でプレイするようになり、このブームもゴルフ場建設ブームに一役買っているようです。

中国の西南地区に位置する雲南省には、中国のゴルフコースランキングNo.1のゴルフ場があり、ここはジャック・ニクラス及びロバート・トレント・ジョーンズJr.の設計、中山温泉ゴルフ場はジャック・ニクラス及びアーノルド・パーマーの設計、そして深圳ゴルフクラブはネルソン・ハワーズの設計、いずれもメンテは比較的よくなされており立派なコースとなっています。中でも、深圳ゴルフクラブのコースは林間コースで広東省では最も良いコンディションであると評価されています。

最近、雲南省の標高3,000メートルに新ゴルフ場が開業しました。

■中国のプロゴルファー ■

中国でのプロゴルファー界の歴史はまだ浅く、プロ選手は約40人ほどと聞いています。PGAツアーも行われていますが、賞金額はまだ小規模のようです。

深圳ゴルフクラブに所属する張連偉プロは、かつて広島のアジア大会に中国代表選手として参加し、その後プロに転向してからはアジアツアーや活躍しています。

今年日本のPGAツアーの外国人枠が緩和され、張連偉選手は6日間の予選会に参加、見事4位タイで出場権を獲得しました。2002年は20試合くらい

の出場権があるようですから、日本で中国人プロが活躍する日も近いでしょう。

■香港のゴルフブーム ■

練習場がまだ少ないせいか、特に夜はいつも混んでいますので予約が必要です。旧啓徳飛行場の滑走路を利用した打放し練習場は、一階のみで250打席ありますがいつも予約しないと打席が取れません。

ゴルファーの人口密度が日本と違い濃いので、そのせいもあるでしょう。何しろ既婚者は殆ど夫婦同伴の練習、未婚者でもガールフレンド連れ、子供がいれば家族連れでの練習です。

ですから日本のようにちょっと緊張した雰囲気などまったくなく、さながら遊園地のようで賑やかです。時には騒がしくて練習になりません。ゴルファーの人口密度は、言ってみれば日本の倍にあたるわけです。

香港はほとんど共稼ぎであり、男女平等で日本のように男女差別がありませんから収入も男性とかわらず、発言権も平等です。男性だけがゴルフをすることはありえず、そんなことをしたら大騒ぎになるでしょう。

香港は会員権がとても高いので、多くのゴルファーは深圳の会員権を買いゴルフをしていますが、ルール、エチケットがめちゃくちゃな人もいて、ゴルフ場で迷惑を撒き散らしています。

中国ではまだゴルフの歴史が浅く、ちょうど日



打放し練習場は夫婦、家族連れでいつも大にぎわい



啓徳発行場跡の250打席もある打放し練習場



深圳ゴルフクラブ会報

この40年くらい前と似ていて、特定の条件をもつ限られたエリートのみで、それ以外の人はまだ遠く、大衆化するまでには時間がかかるでしょう。しかし、ゴルフをしている人達は非常に練習熱心で研究心は旺盛ですし、技術力はなかなかのものでシングルプレーヤーも結構います。

ゴルフはまだステータスシンボルですから、ゴルフをする人達は高級外車で倶楽部に来ますし、使用クラブもアイアンは我々ではとても手が出ない日本製の高級クラブに人気が集中しています。しかしウッドになると多少事情が変わってきて、一番人気は圧倒的にキャロウェイです。

ただ、球を打つことには非常に熱心ですが、ルール、エチケットに関心を持っている人は少ないようです。

携帯電話の持ち込みは当たり前、ましてやバンカー馴らし、グリーン上の球のピックアップ、リプレース、グリーンのボールマークの修復、ターフ跡の目土などは全てキャディの仕事でプレイヤーには関係のことと思っているようです。これは香港人、日本人のビギナーにも共通しているのですが。

ゴルフは「他人に迷惑をかけない」ということが基本であることをまだ知らない人が多いようです。これを気にしだすとゴルフになりませんから、我々は如何に無関心でいられるかです。勿論、上級者にはこのようなことはありませんが、まだプレイヤーの大部分がビギナーですから。

■ 中国のゴルフ会員権 ■

中国の経済事情は日本とかなり違い、いまだ経

済成長率を維持していますので、ゴルフ会員権は日本に比べ相当高いものになっています。恐らく日本の3倍から5倍くらいのレベルでしょう。

大部分のゴルフ倶楽部は預託金のない入会金のみの会員権を発行しています。

倶楽部の運営にいたっては、会員総会もありませんし、運営は倶楽部（会員）ではなく、経営母体会社がすべて握っており、日本とか欧米のように会員の代表で理事会を構成し、会員代表が理事長になり理事会を運営していくという通常我々承知しているメンバーカラブは見当たりません。唯一、深圳ゴルフクラブは理事会がありますので、ほんのわずかにこの形態をにおわせています。しかしこうした例です。

ですから中国の会員権は、単純にプレイ権があるということだけです。中国におけるゴルフ場建設の初期時期は、かなり日本の影響を受けているようです。中国で最も古いゴルフ倶楽部は1985年開場が三つあり、深圳ゴルフクラブ（開場時25%日本資本でしたが今は無し）、珠海ゴルフクラブ（100%日本資本）、中山温泉ゴルフクラブ（香港等外国資本がメイン）といった具合でした。

ですから中国の物価からみますと、日本の高いゴルフ料金がそのまま持ち込まれた為、大変に高い料金で高級スポーツとなっています。

今では日本が相当に値下がりしていますので、むしろ日本より高い料金になっているのではないかでしょうか。メンバーの年会費は欧米及び香港（香港の年会費も目が飛び出るほど高い）のシステムを取り入れていますので、グリーンフィーは無料ですが年会費は非常に高く、日本の6倍から10倍位でしょう。

最近、香港の財閥系のゴルフ倶楽部も中国でできていますので、これからは、メンバーシップ倶楽部本来の運営である、メンバーが自ら運営するコミッティーを持つ倶楽部が出現していくことを期待したいと思います。

いずれにしましても中国のゴルフ界は、今後大いにゴルフ人口が増えて益々発展するでしょう。

大宮国際カントリークラブ



1. 倶楽部名 大宮国際カントリークラブ

住 所 〒331-0074

埼玉県さいたま市宝来910番地

電 話 048-624-5770

F A X 048-623-5252

2. 開場年月日 昭和41年3月30日

3. 理 事 長 大木 英雄 (S.11.10.13生)

倶楽部代表者 大木 英雄、山田 康夫

4. 倶楽部分科委員長

競 技 委 員 長 早川 達也

エチケットフェローシップ委員長 中西 勝巳

ハンディキャップ委員長 山下 俊夫

コ ー ス 委 員 長 水野 米二

5. 支 配 人 山田 康夫 (S40.2.18生)

6. 倶楽部概要

当コースは、さいたま市と川越市の境を流れる、荒川の河川敷にあります。都心からコースへのアクセスは、車、電車の場合とも1時間以内と、短時間での来場が可能となっております。

ホール数は、45ホール（5コース）でそれぞれ、ちどり、しらさぎ、とき、ひばり、せきれいと、鳥の名前を冠したコース名となっております。河川敷ながら林間調の趣を醸し出すホールもあり、フラットな地形の中に池やバンカーを巧みに配し、

砲台グリーンがショット及びパッティングの難易度を上げております。

名物ホールは、ひばりコース1番ホール630ヤードのPAR5で、ロングヒッターであってもバーを取るには、一打のミスも許されない距離になっております。又、ちどりコース9番ホールは、左右に池が点在し、グリーンに迫り着くまで安心できない、最終ホールとなっております。

コース開放日を設定する等、幅広い層のゴルファーが利用しやすい環境作りを行い、真にゴルフを楽しむ事ができるゴルフ場の創造を、テーマにしております。

大利根チサンカントリークラブ



1. 倶楽部名 大利根チサンカントリークラブ

住 所 〒278-0012

千葉県野田市瀬戸548

電 話 04-7138-2121

F A X 04-7138-1384

2. 開場年月日 昭和39年11月1日

3. 理 事 長 竹井 博史 (S19.9.2生)

倶楽部代表者 山田 英夫、武田 泰法

4. 倶楽部分科委員長

コ ー ス 委 員 長 武田 泰法

競 技 委 員 長 渡辺 賢一

新規加盟倶楽部紹介

ハンディキャップ委員長 助川 圭吾
総務委員長 渡部 俊彦
5. 支配人 柿沼 和弘 (S35.4.3生)

6. 倶楽部概要

当俱楽部は、千葉県と茨城県の県境を流れる利根川の河川敷に位置するコースで、コースからは筑波山・日光連山を望むことができます。

各ホールは大きな柳によってセパレートされ、フェアウェイには微妙なアンジュレーションがあり、池やクリークが配置されて戦略性を高めています。また、ベント・高麗の2グリーンを備えており、名物ホールはアウト5番ホール、596ヤード右ドッグレッグの距離のあるロングホールです。趣のある木造のクラブハウスの隣りには、「チサンホテル大利根」を宿泊施設として完備しております。

コースへのアクセスは、常磐自動車道・柏ICから8km（10分）で、都心からでも1時間以内と大変便利しております。電車をご利用の場合は、JR常磐線・柏駅から25分（クラブバスによる送迎有り）、または東武野田線・梅郷駅から15分です。

成田フェアフィールドゴルフコース（準会員）



1. 倶楽部名 成田フェアフィールドゴルフコース

住所 所 〒286-0805

千葉県成田市南羽鳥字殿迎764

電話 0476-37-2777

FAX 0476-37-0082

2. 開場年月日 平成10年5月16日

3. 総務委員長 選任中

俱楽部代表者 選任中

4. 倶楽部分科委員長 選任中

5. 支配人 竹内 長 (S14.5.21生)

6. 倂楽部概要

当俱楽部は千葉県北総部の成田市に位置したなだらかな丘陵コースです。コース設計・監修は謝永郁プロであり、要所に池、バンカーを配した18ホールズのコースはビギナーからシングルプレーヤーまであらゆるゴルファーに楽しんでいただけることと思います。アウトコースは自然林に各ホールがセパレートされ、正確な方向性が要求されます。インコースはアウトコースに比べ距離も長く、フェアウェイも広く豪快なショットが楽しめます。

特にアウトコースの7番は池越え右ドッグレッグのロングホールで、ティショットの落とし所により、スコアマークが大きく変わる印象的なホールです。

また、インコースの15番はティグランドからグリーン手前まで左側に池を配し、グリーン前にはガードバンカーが待ち受ける美しくかつ難易度の高いショートホールです。

コースメンテナンスには非常に力を入れており、芝目のほとんどない高速ベントグリーン（芝種ドミネント）はご来場されるお客様より非常に高い評価をいただいております。

当俱楽部はパブリックゴルフ場として平成10年

5月にオープンし、開場後約4年を経過いたしましたが、本年4月1日より会員制ゴルフ場「成田フェアフィールドゴルフクラブ」に移行する予定です。

会員制ゴルフクラブへの移行に伴い、現在コース内の一部改修工事を実施しております。また従来の乗用カートでのセルフプレーに加え、一部キャディ付きのプレーも採用し、様々なプレースタイルでのゴルフが可能となります。

コースへのアクセスは東関東自動車道「成田IC」から車で約15分（11km）、電車の場合はJR総武線「成田駅」、京成電鉄「京成成田駅」からタクシーで約11分と非常に恵まれており、東京から1時間強でお越しになります。

フレジメントカントリー倂楽部 軽井沢コース（準会員）



1. 倂楽部名 プレジメントカントリー倂楽部
軽井沢コース

住所 所 〒377-1412

群馬県吾妻郡長野原町北軽井沢2032-16

電話 0279-84-6111

FAX 0279-84-6112

2. 開場年月日 平成9年8月1日

3. 理事長 未定

倂楽部代表者 木村 進 (S12.11.6生)

4. 倂楽部分科委員長 未定

5. 支配人 北原 薫 (S17.8.27生)

6. 倂楽部概要

当俱楽部は、群馬県北軽井沢の雄大な浅間高原に位置し、標高1,300mの爽やかで静かな空気の中に融けこんでおります。コース設計はカナダのシド・パディコム社。設計コンセプトは、軽井沢の豊かな自然特性を活かしながら、どのレベルのゴルファーでも戦略をたてる喜びが味わえプレーが楽しめることです。その言葉通り、すべて洋芝で敷きつめられたコースは、全体的にフラットでありながら細かなアンジュレーションに豊んでおり、美しくレイアウトされたバンカーやウォーターハザードがプレー者の戦略心を高めています。特に、名物ホールである最終18番ホール436yバーフは、左右に池を配しショットの飛距離、方向性、距離感、またグリーンの読みとすべてが求められるレイアウトとなっておりゴルフの醍醐味が味わえます。

また、クラブハウス内および併設されたホテル軽井沢リゾートには、レストラン、ラウンジ、天然温泉露天風呂を備えた大浴場、テニスコート、バターゴルフ、インドア温水プールなどを完備し、総合リゾートとして皆様のプライベートタイムを心ゆくまでお過ごしいただける施設となっております。

コースへのアクセスはお車の場合、上信越自動車道「碓氷軽井沢IC」から30km（約45分）、電車をご利用の場合は、JR軽井沢駅から約30分でお越しいただけます。

総会・理事会・分科委員会

第54回 通常総会議事録

日 時 平成14年2月20日（水）
午前10時

場 所 ホテルニューオータニ 麗の間

定刻福田理事長、議長席につき、加盟492俱楽部（除く準会員）中、委任状を含め319俱楽部の出席となり、適法に成立した旨の報告の後、開会を宣した。次いで関東ゴルフ連盟活動方針骨子として、

1. ゴルフ界の現状と関東ゴルフ連盟の責務

2. 組織、財政、事業等の抜本的改革具体的には

①G-sys（JGAハンディキャップ算定システム）の普及発展（未採用クラブ宛CD-ROMの無料配布）

②広報活動の強化（KGAsホームページの開設）

③提携クレジットカード（KGAs Golfer's カード）の発行

④既存事業の充実（ジュニア育成、主催競技、コース・レート査定）

等につき、所見を述べられた後、上程議案審議に先立ち、議事録確認署名者として、岩宮浩常務理事、塚本清士郎理事を指名した。

—決議事項—

第1号議案

「平成13年度事業報告、ならびに一般会計・特別会計決算の承認を求める件」

議長の指示により、事務局より、一般・特別両会計の決算報告の後、玉井監事の監査報告がなされ、原案どおり承認された。

第2号議案

「平成14年度事業計画、ならびに一般会計・特別会計予算案の承認を求める件」

尾閑副理事長より、予算編成の基本

方針、ならびに各会計の具体案として、

①G-sysの貸与収支と運営収支

②関東ゴルフ連盟ホームページの開設

③提携クレジットカードの発行等説明の後、事務局より、予算案の報告がなされ、原案どおり承認された。

第3号議案

「山梨県、静岡県理事補選の件」

議長より、連盟規約第14条、15条、及び細則により、山梨県では、加盟俱楽部数増（20→21）により、理事定員1名増、静岡県においては1名の欠員があった旨と、山梨県定員増分の理事候補として、次記候補者が発表され、審議の結果、異議なく承認された。尚、静岡県は本総会までに選任手続が間に合わなかった為、欠員となった。

山梨県よりの理事

志村和也

報告事項

「財日本ゴルフ協会平成13年度事業報告、および決算報告、ならびに平成14年度事業計画、および予算に関する件」

議長の指示により、佐藤事務総長次記報告を行い承認された。

14年度事業計画、および予算案は、昨年12月14日の財日本ゴルフ協会理事会に於いて決定し、加盟俱楽部に送付済である。

13年度事業報告、および決算報告については、2月28日開催の財日本ゴルフ協会理事会終了後に送付される予定である。

以上をもって、総会の議事を終了、11時30分閉会を宣した。

平成14年2月20日

議事録確認署名者

議長 福田 彰（印）

署名者 岩宮 浩（印）

署名者 塚本清士郎（印）

平成13年度 第3回 理事会議事録

日 時 平成14年1月21日（月）正午
場 所 ホテルニューオータニ 桂の間

出席者 福田理事長

古賀、尾閑副理事長

赤羽、新井、岩宮、楠本、小

宮山、斎藤、田中、広中、前

川、吉田、渡邊各常務理事

伊藤（淳）、伊藤（文）、井上、

牛込、大原、鬼沢、篠崎、高

橋、田村、塚原、塚本、富田、

南学、萩原、人見、平岩、普

勝、福嶋、松本、村上、吉岡、

吉澤各理事

玉井、堀向監事

福田理事長、議長を務め定刻開会を宣し、議事録確認署名者として、新井安寿常務理事、萩原 剛理事を指名の後、順次議題審議を行った。

—討議及び決議事項—

①新規加盟俱楽部及びJGA個人会員入会審査の件

1月21日現在、加盟申請のあった次記3俱楽部、及び井上徹治氏以下15名のJGA個人会員の入会について、慎重審議の結果これを承認した。

●正会員

大宮国際カントリークラブ
(埼玉県)

新大宮ゴルフ俱楽部 (茨城県)

●準会員

ブレジデントカントリー俱楽部
軽井沢コース (群馬県)

●JGA個人会員
名簿をJGAに提出

②平成13年度一般会計・特別会計決算案ならびに平成14年度一般会計・特別会計予算案に関する件

議長の指名を受け、事務局より詳細に報告、説明を行い、慎重審議の結果、これを承認、通常総会に上程することとした。

③KGA Golfer's カードの件

小宮山総務委員長より、具体的な内容が報告、説明され、質疑応答の結果、積極的に取り組むことを全員確認し、平成14年度事業として通常総会に上程することを承認した。

④山梨県、静岡県理事補選の件

連盟規約第14条、15条及び細則に従い、両県の理事増（山梨県）、欠員補選（静岡県）を行うこととし、通常総会にて選任することとした。

⑤平成11年、12年度年会費未納俱楽部への退会勧告の件

13年度会費未納俱楽部は11俱楽部であったが、その内再三四請求するも、平成13年12月末時点で、11年、12年度分についても年会費未納の次記2俱楽部に退会を勧告することを承認した。

●ロイヤルメドウゴルフクラブ

(栃木県)

●マーベルスター伊王野ゴルフ俱楽部 (栃木県)

る件

⑦後援競技承認の件
1月21日現在、後援申請のある次記競技の後援を承認した。

「2002神奈川県アマチュアゴルフ選手権大会」

主 催：財日本パブリックゴルフ場

期 日：平成14年5月23日

水戸グリーンカントリークラブ

照田コース

「平成14年東日本パブリックアマチュアゴルフ選手権競技大会」

主 催：財日本パブリックゴルフ場
事業協会

（男子の部）

予 選：平成14年4月15日～5月6日
富士ゴルフコース
他24会場

決 勝：平成14年5月29日～30日
那須野ケ原カントリークラブ

（女子の部）

予 選：平成14年4月15日～5月6日
富士ゴルフコース
他22会場

決 勝：平成14年5月16日
草津高原ゴルフ場

「平成14年東日本シニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技大会」

主 催：財日本パブリックゴルフ場
事業協会

予 選：平成14年8月20日～9月2日
富士ゴルフコース
他21会場

決 勝：平成14年10月1日
おおさとゴルフ俱楽部

「日刊アマゴルフ2002 全日本シングルプレーヤーズゴルフ選手権」

（第29回東日本大会・関東大会）
主 催：日刊スポーツ新聞社

予 選：東京国際カントリー俱楽部
他会場（予定）

決 勝：大利根カントリークラブ（予定）

以上をもって全議事を終了し、14時15分福田議長閉会を宣した。

平成14年1月21日
議事録確認署名者

議長 福田 彰（印）
署名者 新井 安寿（印）

署名者 萩原 剛（印）

平成14年度 第1回 理事会議事録

日 時 平成14年2月20日（水）

総会・理事会・分科委員会

午後12時40分
場所 ホテルニューオータニ 翔の間
出席者 福田理事長
古賀、尾関両副理事長
赤羽、新井、岩宮、楠本、小宮山、斎藤、田中、広中、前川、吉田、渡邊各常務理事
砂金、伊藤（淳）、伊藤（文）、福川、井上、牛込、遠藤、太田、大原、篠崎、志村、神塲、高橋、田村、塚原、富田、南学、野口、萩原、林、人見、平岩、普勝、福嶋、松本、村上、山田、吉澤各理事
玉井監事

福田理事長、議長を務め定刻開会を宣し、議事録確認署名者として楠本陽一郎常務理事、富田浩安理事を指名の後、順次議題審議を行った。

—討議及び決議事項—

①新規加盟俱楽部及びJGA個人会員入会審査の件
2月20日現在、加盟申請のあった次記2俱楽部、及び高橋勝志氏以下9名のJGA個人会員の入会について、慎重審議の結果これを承認した。

●正会員
大利根チサンカントリークラブ
(千葉県)

●準会員
成田フェアフィールドゴルフコース
(千葉県)

●JGA個人会員
名簿をJGAに提出

②平成14年度分科委員長選任の件
選任方法については、理事長一任となり、次記の諸氏を指名し、これを承認した。

総務委員会 小宮山義孝
競技委員会 新井 安寿
委員長代行 野口 正三
競技・規則研修部会 田村 圭司
コース選定部会 新井 安寿
ハンドキック委員会 稲川 廣政
コース・レート委員会 大原 憲二

月例競技委員会 松本 富夫
ジュニア育成委員会 前川 昭一
委員長代行 大鷲 俊朗
広報委員会 高橋 正孝
税対策委員会 伊室 一義
グリーン委員会 古賀 始
体協委員会 斎藤文志郎

③平成14年度分科委員選任の件
選任方法については、理事会終了後の委員長会議に一任することとなり、全員これを承認した。

④財日本ゴルフ協会、平成14年度分科委員候補選任の件
選任方法については理事長、副理事長に一任とし、財日本ゴルフ協会に候補者名簿を提出することとした。

⑤KGA Golfer's カードの件
総会において、満場一致で承認された今年度活動方針（事業内容）の内、標題の件について、小宮山常務理事（総務委員長）、事務局より報告、説明がなされた。本件については、各都県において説明会を行うこととした。

⑥後援競技の件
「第7回埼玉県オープンゴルフ選手権大会」美里カップ
主催：埼玉県ゴルフ協会

美里ゴルフ俱楽部
予選：平成14年7月20日
決勝：平成14年7月21日

以上をもって全議事の審議を終了、福田議長午後1時30分閉会を宣した。
平成14年2月20日
議事録確認署名者

議長 福田 彰 (印)
署名者 楠本陽一郎 (印)
署名者 富田 浩安 (印)

平成14年度 第1回 競技委員会議事録

日時 平成14年2月27日 (火) 13時
場所 ダイヤモンドホテル会議室
出席者 福田理事長
新井委員長
野口委員長代行
武蔵カントリークラブ

笹井コース
平成14年5月28日
武蔵カントリークラブ
豊岡コース
(成年女子・少年女子)
平成14年5月27日
武蔵カントリークラブ・笹井コース
平成14年5月28日
武蔵カントリークラブ・豊岡コース
「第30回記念久光製薬KBCオーガスタ予選会」
主催：九州朝日放送
平成14年4月15日
美浦ゴルフ俱楽部

⑦事務局長（代行）選任の件
現佐藤事務総長、局長は、定年後嘱託として現職にあったが、本人の申し出により、新たに局長（代行）を選任する必要が生じ、今後の対応を講ずることとなり、協議の結果、正副理事長に一任することを承認された。

⑧新潟県選任理事欠員の件
斎藤常務理事（新潟県）より、金井彌壽郎理事（紫雲）が俱楽部代表者を辞任した為、関東ゴルフ連盟理事も辞任することになった。新潟県として、今年度は欠員のままとした旨の提案がなされ、これを承認した。

⑨今年度活動方針について
新井委員長より、下記の今年度活動方針が示され、全委員これを確認をした。
「永年競技の充実と高揚に努めてきたが、これで充分ということではなく、引き続きより一層の充実を目指したい。委員諸氏には関東ゴルフ連盟の競技委員であるという矜持と自信をもって競技運営にあたっていただき、今年度もより一層のご協力、ご尽力をお願いしたい。」
今年度の活動のテーマとして、次記事項が挙げられた。
●プレーの迅速化
●率先したトラブルへの対応

⑩委員長代行、副委員長、バイスキャップ、班編成について
去る2月21日に開催された正副委員長会議において、次記の諸氏が指名委嘱された。

●副委員長兼規則研修部会長
田村圭司
●委員長代行
野口正三
●副委員長及びバイスキャップ
1班 平山誠一副委員長、山崎滋
男バイスキャップ
2班 大島義治副委員長、田中克
幸バイスキャップ
3班 藤戸總三郎副委員長、矢野隆男バイスキャップ

また、班編成についても昨年同様、3班構成とすることを確認、各委員の所属が指示され、これを確認した。

⑪新任委員紹介について
佐藤事務総長より第1回委員長会議において、諸氏が選任されたことの報告の後、全委員の紹介がなされた。
また、新井委員長より退任された委員のこれまでの活動に対し、謝辞が述べられた。

⑫主催競技実施規定について
新井委員長より、機上配布資料を基に、詳細な説明がなされ、関東女子、関東アマチュア、関東グランドシニア、関東俱楽部対抗について、原案どおり承認した。
また、俱楽部対抗競技は前年比で9俱楽部増の史上最多数の参加であることの報告がなされた。

⑬ローカルルール原案、競技管理基準について
田村副委員長より配布資料を基に追加部分、変更箇所等の詳細な説明がなされ、これを確認した。また以下のことをについても確認をした。
●打ち合わせを行った日と競技日ではコースコンディションも違うので、朝のコースチェックを行なう委員は、もう少し時間をかけ、必要であれば球を転がすなどの入念なチェックを行なってもらいたい。
それにより委員会に間に合わなくとも支障ない。

●スコア集計所において、第1チェックは必ずKGA側の委員が行なうこと。人数は3~4人程度までとす

る。巡回引率と練習の合間に、各競技担当班にて別紙資料のとおり、確認をした。

⑭2002/3ゴルフ規則裁定集新裁定について
田村副委員長より、机上資料を基に詳細な説明がなされ、全委員これを確認した。また、変更となったアマチュア資格規則についても、あわせて説明がなされた。

⑮その他
●競技打ち合わせについて
各班に分かれ、競技打ち合わせ日等を決定した。

平成14年度 第1回 ハンディキャップ委員会議事録

日時 平成14年3月29日(金)午後2時
場所 ダイヤモンドホテル
出席者 福田理事長

稲川委員長
須崎、蛭田各副委員長
渡邊、大原各顧問
射沢、加藤、川又、鈴木(康)、鈴木(常)、関根、田原、戸田、早川、人見、福喜多、宮本、吉井、浅見、海老原、大竹、亀田、遠山、森川、八木、横田、村田、大垣、小林、平井、深谷、松尾、細田、田中、中尾、矢崎、小松、勝田、荻原、許斐、菊地各委員

陪席 KGA計算センター、下川
—討議及び決議事項—
討議に先立ち、佐藤事務総長より第1回委員長会議において諸氏が選任されたことの報告の後、全委員の紹介がなされた。その後、福田理事長より今年度活動方針につき所信が述べられたあと、次記討議が行われた。

⑯今年度活動方針について
稲川委員長より今年度の活動方針が

総会・理事会・分科委員会

示され、全委員これを確認した。「永年にわたって続けてきたJGAハンディキャップの普及活動は、一部の未実施俱楽部を除き、充分に啓蒙されたと考える。来年度からは正式に女子ハンディキャップが実施されることもあり、委員諸氏にはより一層のご尽力をお願いしたい。」

②副委員長選任について

稲川委員長より、次記の諸氏が副委員長として留任したことの報告がなされ、全委員これを確認した。

須崎昭平、平山誠一、蛭田信宏、福田 豊

③JGAハンディキャップ委員会報告について

稲川委員長よりJGAハンディキャップ委員会の報告がなされた。

①JGAハンディキャップ規定について
一部の文言修正を行なった。ハンディキャップ運用マニュアルとハンディキャップ読本を合わせた冊子を発行する予定であったが、今年一年間、再度研究、検討を重ね、来年度以降に発行することとした。また、数年に一度の割合で見直しを行なう。

②女子ハンディキャップについて
「来年度からの実施に向けた準備期間となる本年、女子委員の諸氏には将来の女子委員会設立にも向かた積極的な活動をお願いし、女子ハンディキャップ、コースレートの意義を明確にしていただきたい。」

③女子コース・レーティングについて
「難易度の問題も含め、実際に女子委員が査定してみないとわからないことが多く発生すると思われる。女子委員以外でも現役の選手の中で関心のある人がいればご助力いただきたい。」

ここで大原顧問より、コースレート委員会の今年度活動方針が述べられた。

「本年度も精度の高い査定で正確

な数字を出していきたい。申請のあった俱楽部から順番に査定を行なっていきたいが、15年再査定俱楽部もあり、女子用コースレート査定についてはスケジュール的に難しい。数が多いので机上査定以外方法がないが、非常に特殊なコースなどは問題もある。来年からのスタートに向け、今年の秋頃までには具体的な方法を決定したい。」

④日本パブリックゴルフ場事業協会「J-sys」採用について
勝田委員より詳細な説明がなされ、全委員これを確認した。

⑤CD-ROM版「G-sys」無料配布について

佐藤事務長より詳細な説明がなされた。

「各俱楽部には4月1日付で到着するよう、すでに発送手続である。すぐに稼動できるわけではないが、まずは試行し、その後検討していただくようになっている。これにより、本年度中の全加盟俱楽部完全実施を目指したい。」

⑥その他

①KGAゴルファーズカードの件について
佐藤事務長より、机上資料を基に詳細な説明がなされ、全委員これを確認した。

委員会終了後、稲川委員長、渡邊、大原顧問、荻原、許斐、菊地各委員で女子用ハンディキャップ、コースレートについての打ち合わせが行なわれた。

平成14年度 第1回 コース・レート委員会議事録

日 時 平成14年3月15日（金）正午
場 所 ダイヤモンドホテル会議室
出席者 福田理事長
 大原委員長
 岡田・松岡両副委員長
 萩島・寺村・中野・日暮・前

川、森、和田各委員
渡邊顧問

—討議及び決議事項—

討議に先立ち、福田理事長より、今年度活動方針が示され、全員これを確認した。

また、大原委員長より、副委員長に岡田、松岡両氏が指名された。

①今年度活動方針について

大原委員長より、今年度より、査定後15年を経過した俱楽部の無料査定が実施されることもあり、今年度は査定申請が多くなることが予想されるが、委員諸氏の倍旧の協力方の要請がなされた。

②JGAハンディキャップ委員会報告事項について

大原委員長、ならびに渡邊顧問より、①コース・レート査定後15年を経過した俱楽部に対する再査定
②平成15年1月から実施される女子のハンディキャップ、コースレートについて、机上配布資料をもとに詳細な説明がなされた。これを受け、各委員活発な意見交換がなされ、以下のことを確認した。

「査定に関しては、15年の再査定を含め、精度の高い査定を実施すべく研修を重ねていきたい。また、平成15年1月から実施される女子のハンディキャップ、コースレートについて、当委員会として査定方法の確立を図るため、今後、秋を目途にハンディキャップ委員会と合同で検討を重ねていきたい。」

③机上査定について

次記3俱楽部より、机上査定の申請があり、慎重に討議した結果、以下のように決定した。

①甲斐芙蓉カントリー倶楽部 従来の左右ペント2グリーンを、ホール毎のグリーンの組合せを変更し、新たに「トーナメントグリ

ーン」、「メイングリーン」という名称で4つのグリーンとしてコースレートが取得できないかという申請であったが、グリーンの組合せの変更による、複数の査定は行わないこととした。

②グランドスラムカントリークラブホールの一部改造による申請であったが、2グリーンを1グリーンに変更し、バーの変更を伴う改修であり、また、査定後14年を経過していることもあり、再査定対象俱楽部とし、15年の再査定と併せ、机上査定ではなく、実地査定とすることとした。

③妙高高原ゴルフ倶楽部

「バック・ティ」「ペントグリーン」

72. 5

「レギュラー・ティ」「ペントグリーン」

70. 0

「フロント1・ティ」「ペントグリーン」

68. 9

「フロント2・ティ」「ペントグリーン」

67. 2

④査定スケジュールについて

カメリアヒルズカントリークラブ以下11俱楽部について、査定日を以下のように決定した。

①埼玉ロイヤルゴルフ倶楽部

おごせコース

4月5日（金）

②ヌーベルゴルフ倶楽部

4月8日（月）

③富士箱根カントリークラブ

4月10日（水）

④南千葉ゴルフ倶楽部

4月23日（火）

⑤八王子カントリークラブ

4月26日（金）

⑥日光カントリー倶楽部

5月9日（木）

⑦箱根カントリー倶楽部

5月28日（火）

⑧成田フェアフィールドゴルフクラブ

6月4日（火）

⑨龍ヶ崎カントリー倶楽部

6月5日（水）

総会・理事会・分科委員会

●東松山カントリークラブ※

6月7日（金）

●程ヶ谷カントリー倶楽部※

6月18日（火）

●ブレジデントカントリー倶楽部

軽井沢コース

6月20日（木）

●東急セブンハンドレッドクラブ

6月28日（金）

●川越カントリークラブ※

7月2日（火）

●大利根チサンカントリークラブ

7月4日（木）

●唐沢ゴルフ倶楽部・三好コース※

7月8日（月）

●中条ゴルフ倶楽部

7月30日（火）

●相武カントリー倶楽部※

8月30日（金）

●那須ゴルフ倶楽部※

10月10日（木）

●サンライズカントリークラブ※

11月13日（水）

日高カントリークラブ、富士レイク

サイドカントリー倶楽部の2俱楽部は、次回委員会にて査定日を決定することとした。

平成13年度 第10回 月例競技委員会議事録

日 時 平成13年12月19日（水）16時

場 所 KGA会議室

出席者 松本委員長

山崎・阪田・中野各副委員長

岡野・加藤・小坂・桜井・平

山・星野・松井各委員

学生連盟委員

—討議及び決議事項—

①12月度競技報告及び総括

山崎副委員長より下記の報告及び総括がなされた。

「12月にしては珍しく風もなく、好天に恵まれた1日であった。毎年のことながら、受付、その他ミーティングの準備など、俱楽部側の万全な協力体制には謝意を表したい。今回

は当日欠席者が一人もなかつたが、今後も参加選手には充分心がけてもらいたい。」

エントリー数他は以下のとおり

開催日 平成13年12月11日(火)

コース 茨城ゴルフ倶楽部

西コース

エントリー 143名

(男子95名、女子48名)

欠席者数 事前連絡8名

(男子5名、女子3名)

当日連絡0名

無断欠席0名

出場者数 135名

(男子90名、女子45名)

料 酬 者 0名

ミーティング欠席 0名

失格者 1名（男子=4-1）

棄権者 0名

次回プレオフ

《男子》阪田哲男、飯塚裕一

《女子》飯沼恵子、閔根奈穂美

②今月のテーマについて

毎月のテーマは、本来月例参加選手にとって、最低限心得ておかなければいけないことであり、また、参加選手全体にも大体浸透したことから、今後は設定しないこととした。初参加選手には、テーマの一覧表を送付することとした。

③その他

●失格の選手について
平山委員より、今回の失格者についての裁定報告がなされた。
当該選手が使用していたバターには2つのグリップがついていたが、両グリップの間隔が、1.5インチ以下であったため、規則4-1により、競技失格とした。

平成13年度 第11回 月例競技委員会議事録

日 時 平成14年1月24日（木）正午

場 所 KGA会議室

出席者 松本委員長

総会・理事会・分科委員会

山崎、阪田各副委員長
加藤、桜井、鷗田、平山、松井各委員
学生連盟委員

—討議及び決議事項—

①1月度競技報告及び総括

山崎副委員長より下記の報告及び総括がなされた。

「久しぶりに袖ヶ浦カンツリークラブでの開催ということで、多数の参加者が予想されたが、例年に比べてやや少なかった。コースコンディションは素晴らしい、競技の進行は順調であったが、ポイント獲得がかかることが多いこともあるせいか、男子の進行がどうしても遅れぎみになるため、次回は進行時間のチェックを実施することも検討したい」。

エントリー数他は以下のとおり

開催日 平成14年1月18日(金)
コース 袖ヶ浦カンツリークラブ
袖ヶ浦コース
エントリー 123名
(男子90名、女子33名)
欠席者数 事前連絡4名
(男子3名、女子1名)
当日連絡2名(男子)
無断欠席0名
出場者数 117名
(男子85名、女子32名)

科罰者 0名

ミーティング欠席 0名

失格者 0名

棄権者 0名

次回プレーオフ

《男子》上島英信、和田雅英

②2月度競技について

例年、長い距離で開催しており、飛距離の出ない女子選手にとっては好スコアが望めない状況である。昨年も70台のスコアは優勝者の1人だけであったため、距離の長いパー4ホールをパー5とし、合計パー74とする。

③その他
女子の参加人数につき、討議がなされた。

全体的な女子参加人数が少ないため、参加者増加に向けての方法を検討していきたい。

各委員、活発な意見交換がなされた結果、関東女子決勝へのシード枠拡大を競技委員会に要請し、協議することとした。

平成14年度 第1回 月例競技委員会議事録

日 時 平成14年2月22日(金) 正午
場 所 KGA会議室
出席者 松本委員長
山崎、阪田、中野各副委員長
牛込、小坂、桜井、嶋田各委員
学生連盟委員

—討議及び決議事項—

討議に先立ち、松本委員長より今年度活動方針が述べられ、全委員これを確認した。

①副委員長、委員選任の件

松本委員長より、次記の諸氏が副委員長として留任したことの報告がなされた。

●山崎宣彦、中野弘治、阪田哲男
また、新任委員として牛込成美委員の紹介がなされ、全委員確認をした。

②2月度競技報告及び総括

中野副委員長より、下記の報告及び総括がなされた。

「晴天に恵まれ、コースコンディションは良好であったが、グリーンは硬めの仕上がり具合の上位から風も吹き、選手には難しかったと思われる。来月は女子決勝会場での開催であるが、毎年出場停止になるのを嫌うせいか、2月度の女子参加者が減少傾向である。ミーティングの席上、松本委員長より、月例競技本

來の目的を再度認識してほしいとの注意がなされた」。

エントリー数他は以下のとおり

開 催 日 平成14年2月15日(金)

コ ー ス 東京ゴルフ俱楽部

エントリー 123名

(男子93名、女子30名)

欠 席 者 数 事前連絡6名

(男子5名、女子1名)

当 日 連絡2名(女子)

無断欠席0名

出 場 者 数 115名

(男子88名、女子27名)

科 罰 者 0名

ミーティング欠席 0名

失 格 者 1名(男子=6-6b)

棄 権 者 0名

次回プレーオフ

《男子》石井保行、阪田哲男

③3月度競技について

次記事項を確認した。

●女子ロッカー使用については2名以上での共用とする。

●6番ホールのティショット使用クラブの制限

また、競技委員会の女子決勝打ち合わせ時に、あわせて月例競技の打ち合わせも行なうこととした。担当は平山委員。

④その他

関東学生ゴルフ連盟から推薦の選手の参加料について、値下げ案を検討するも、各関連委員会との兼ね合いもあるため、次回以降の検討課題とした。

平成14年度 第2回 月例競技委員会議事録

日 時 平成14年3月15日(金) 正午

場 所 KGA会議室

出席者 松本委員長

山崎副委員長

牛込、加藤、小坂、桜井、嶋田、星野、松井、三木各委員

学生連盟委員

総会・理事会・分科委員会

—討議及び決議事項—

①3月度競技報告及び総括

山崎副委員長より、下記の報告及び総括がなされた。

「関東女子決勝会場ということで、女子の参加者は91名という人数になり、出場制限を適用せざるを得ず、女子23名、男子11名の選手を辞退処置とした。非常に多く縮まったペントグリーンであったが、グリーンの面積が小さいため、苦戦する選手が多く見受けられた」。

エントリー数他は以下のとおり

開 催 日 平成14年3月11日(月)

コ ー ス 小金井カントリー俱楽部

エントリー 148名

(男子80名、女子68名)

欠席者数 事前連絡4名

(男子3名、女子1名)

当 日 連絡0名

無断欠席0名

出 場 者 数 144名

(男子77名、女子67名)

科 罰 者 0名

ミーティング欠席 2名

失 格 者 2名

(男子=6-6b, 6-6d)

棄 権 者 1名

次回プレーオフ なし

②4月度競技について

4月度はアマ決勝会場となるため、参加者多数の場合は、男子選手を優先することとした。

③その他

●学生の参加料について

4月度より、学生選手の参加料を5,250円にすることとした。

●人数制限について

今回人数制限規定を採用したものの、その方法について再度検討をし、下記事項を確認した。

①前年度の出場回数の多い者を優先する。

②受付の先着順

③新規定は6月度から適用する。

●上着の着用義務について

忘れた選手はその場で帰宅されることとした。オブザーバーとしてのラウンドも一切認めない。但し、当日欠席者扱いとはしない。

平成14年度 第1回 ジュニア育成委員会議事録

日 時 平成14年3月4日(月) 午後2時

場 所 ダイヤモンドホテル 205

出席者 前川委員長

大鷲委員長代行

大久保、荻原、笠川、川島、藤園各副委員長

荒井、池頭、市川、稲富、岩田、宇賀神、大野、唐木、河本、栗原、琴河、佐藤、白石、杉山(文)、田村、塚原、中島、林、広瀬、藤巻、発知、前田、増岡、松井、宮本、元木、矢島、安間、山崎、吉岡、和久各委員

濱谷、今泉、小野(重)、古澤、伊藤、清谷各都県アマチュア団体委員

中澤 豊、横山重明

堤 正夫(下田北高)、森川 優(明大中野高)

—討議及び決議事項—

討議に先立ち、佐藤事務総長より全委員を紹介し、順次議題審議を行った。

①平成14年度活動方針について

前川委員長より下記方針が述べられ全員これを確認した。

今年度は、JGAのジュニアゴルフアーチャー育成協議会にてジュニア会員カードを発行し、低廉料金でのプレー、クラブ等の割引購入、俱楽部でのスクール指導マニュアル作り等を行い、ジュニアゴルファーの増加を期したい。

加盟俱楽部にもご協力いただきたい働きかけ、秋にはアンケート結果を県単位で集計する予定である。
ゴルフ場利用税撤廃運動は引き続き行なう。今年度は、年齢別にジュニアとシニアの免税措置を目的とする。諸氏のご協力をお願いする。

②委員長代行、副委員長、委員選任の件

佐藤事務総長より、2月20日の理事会にて委員長代行、副委員長の留任が決定した。また、分科委員は委員長会議にて選任されたことの報告がなされた。

●委員長代行(留任)

大鷲俊朗

●副委員長(留任)

大久保蕃、荻原知昭、川島英雄、笠川喜久男、藤園賢雄

●新任委員

内田 孝、琴河正信、塚原令子、元木文枝、和久照隆

●新都県アマチュア団体委員

川口仁蔵、原 豊造、今泉 博、小原祥三郎、清谷 淳

●新参与

並木好博(堀越高)、大矢一良(大一高)

●退任副委員長

榎本 靖、吉川英明

●退任委員

大木美佳、古日山芳夫、佐藤栄一

●退任都県アマチュア団体委員

中澤 豊、横山重明

●退任参与

堤 正夫(下田北高)、森川 優(明大中野高)

③班編成について

大鷲委員長代行より、昨年同様に居住地を中心とした3班制とする提案がなされこれを承認した。また、各班の統括副委員長は次記のとおり。

1班 笠川、藤園副委員長

2班 川島、荻原副委員長

3班 大久保副委員長

④春季ジュニア・ゴルフスクールについて

昨年同様7会場で開催する。日程、指導内容および班別担当会場が発表され、全委員これを確認した。

昨年問題となった、親が自分の子供に対して暴行した事件については、スコア重視が原因であった。そのため春季スクールのセントラルと茨城

総会・理事会・分科委員会

の2会場にて、小学生の親権者1名が同行して見学できるようにし、主旨やマナー等を親にも伝えるレッスン内容で開催することとした。

⑤夏季ジュニア・ゴルフスクールについて

昨年は、猛暑のため中止になった会場があったので、今年も健康面に十分留意して活動を行なうことを確認した。春スクール同様、親権者同行の形式を取り入れる会場を設けることとした。
15会場の日程を確認し、実施規定は5月中旬頃までに各委員に通知することとした。

⑥関東ジュニア選手権予選、決勝について

別紙の日程で、予選6会場、決勝1会場で開催することを確認した。
また昨年同様、他競技の日程が7月に集中しているため、かなり過密スケジュールとなることから、重ねて全委員に班別担当会場への出席協力をお願いした。

⑦ジュニアゴルフ大会について

年度も、小学生ジュニア会員が増加傾向にあるため「若洲ゴルフリンクス」と「朝霧ジャンボリーゴルフクラブ」の2会場で開催することとした。
競技形式ではあるが、ルールや、スコアカードの書き方等についても教育的指導を中心に行なう大会であるとの説明がなされた。開催方式は昨年と同様、親権者1名をスコアラーとすることを確認した。

⑧その他

アマチュア規定の変更について説明がなされ、これを全員確認した。

平成14年度 第1回 広報委員会議事録

日 時 平成14年3月25日(月)午後3時

場 所 KGA会議室

出席者 高橋委員長

伊室委員長

片山、杉山、塚越、西田、舟橋、森口、山田、吉川各委員

——討議及び決議事項——

高橋委員長の挨拶に続き、各自自己紹介の後順次議題審議を行なった。

①平成14年度編集方針について

高橋委員長より、本年度2月20日の総会で福田理事長が述べられた方針に沿って広報委員会も活動を進めていく。ゴルフ界混迷の中、KGAとしていかにゴルフの振興と発展に貢献できるかが課題で、当委員会は各委員会の活動を側面的にサポートしていくことになる。

②競技取材担当の件

別紙のように、上期競技取材担当を決定し、全員これを確認した。

平成14年度 第1回 税対策委員会

日 時 平成14年3月18日（月）正午

場 所 KGA会議室

出席者 福田理事長

伊室委員長

井上（裕之）、井上（幸久）、桑原、小宮山、田原、玉置、塚本平林、広瀬、松本、八木各委員

——討議及び決議事項——

①ゴルフ場利用税撤廃運動の件

小宮山委員より、昨年度活動総括及び今年度活動方針について報告説明がなされ、質疑応答の後、これを確認した。

②固定資産税に関する件

伊室委員長より、埼玉県における標題の件に関する陳情活動について説明がなされた。

各委員より情況説明、報告がなされ、本件に関しては当委員会の研究課題として、引きつき協議検討を重ねることとした。

③KGAニュースNo.78企画案

①総会

写真 舟橋委員

理事長の今年度活動方針を中心に掲載する。

②KGA春季ジュニア・ゴルフスクール

ノーザンカントリークラブ

錦ヶ原ゴルフ場

取材 吉川委員

鷹之台カンツリー倶楽部(桜撮影)

写真 渡部義一

③KGA Golfer's カード

対談

小宮山総務委員長 高橋委員長

④中国ゴルフ事情

事務局

⑤新規加盟倶楽部紹介

事務局

総会、理事会、分科委員会議事録

月例成績表 お知らせ

その他新連載企画について、さまざまな意見交換がされた。

月例競技成績表

〔平成13年度12月月例〕 平成13年12月11日(火) 茨城ゴルフ倶楽部・西コース

男子	ランク	スコア	氏 名	俱 楽 部
1	70	阪田 哲男	袖ヶ浦	
2	70	飯塚 裕一	藤 岡	
3	72	神戸 誠	太 田 双葉	
3	72	水野 裕司	リバーフ	
3	72	金子 光規	レインボ	
3	72	館 英樹	富士笠間	

※優勝はプレーオフによる

コースレート72.5

女子	ランク	スコア	氏 名	俱 楽 部
1	74	関根奈穂美	セントラル	
2	74	飯沼 恵子	日 光	
3	78	福田 葉子	セバ・パレステロス	

※優勝はプレーオフによる コースレート70.0

〔平成13年度1月月例〕 平成14年1月18日(金) 袖ヶ浦カントリークラブ袖ヶ浦コース

男子	ランク	スコア	氏 名	俱 楽 部
1	71	和田 雅英	東京五日市	
2	71	上島 英信	ニッソー	
3	72	中島 廣行	伊豆にらやま	
3	72	松本 寛美	富士宮	
5	73	吹野 耕一	都 賀	
5	73	鶴田 審人	青 梅	
5	73	金子 光規	レインボ	

※優勝はプレーオフによる

女子	ランク	スコア	氏 名	俱 楽 部
1	79	原田 町子	習志野	
2	81	加藤 勝栄	相模原	
3	83	三木恵美子	富士	
3	83	矢島智都子	霞ヶ関	
3	83	増田 京子	筑波	

〔平成13年度2月月例〕 平成14年2月15日(金) 東京ゴルフ倶楽部

男子	ランク	スコア	氏 名	俱 楽 部
1	71	石井 保行	清 川	
2	71	阪田 哲男	袖ヶ浦	
3	73	宮本 清	小 川	
3	73	金子 光規	レインボ	
5	74	亀井 隆	唐 沢	
5	74	宮 辰夫	習志野	
5	74	和田 博	東京五日市	
5	74	和田 雅英	東京五日市	

※優勝はプレーオフによる

女子	ランク	スコア	氏 名	俱 楽 部
1	79	福田 葉子	セバ・パレステロス	
2	80	三木恵美子	富士	
3	82	関根奈穂美	セントラル	

〔平成13年度3月月例〕 平成14年3月11日(月) 小金井カントリー倶楽部

男子	ランク	スコア	氏 名	俱 楽 部
1	68	亀井 隆	唐 沢	
2	71	宮 辰夫	習志野	
3	73	鶴田 審人	青 梅	
3	73	石井 保行	清 川	
5	74	石原 紀一	京	
5	74	室野 歩	東千葉	

※優勝はプレーオフによる

女子	ランク	スコア	氏 名	俱 楽 部
1	76	牛込 成美	下野	
2	77	三木恵美子	富士	
3	80	関根奈穂美	セントラル	

〔平成14年度4月月例〕 平成14年4月16日(火) 日光カントリー倶楽部

男子	ランク	スコア	氏 名	俱 楽 部
1	69	大山 和則	スプリングフィルズ	
2	70	館浦 圭	千葉	
3	71	金 浩延	塙 原	
3	71	宮 辰夫	習志野	
3	71	館 英樹	富士笠間	

女子	ランク	スコア	氏 名	俱 楽 部
1	73	大木 美佳	見玉スプリングス	
2	75	矢島智都子	霞ヶ関	
3	77	渡辺 恵子	高根	

お知らせ

関東ゴルフ連盟「加盟倶楽部便覧」の変更事項は次記のとおりです。訂正加筆をお願い申し上げます。

理事長

- アイビスゴルフクラブ
(新) 堀 健治 (旧) 高橋 俊郎
- 阿賀高原ゴルフ倶楽部
(新) 小野 敏憲 (旧) 近藤 義雄
- 霞台カントリークラブ
古山高麗雄 (旧)
- カントリークラブ・ザ・レイクス
小坂善太郎 (旧)
- 府中カントリークラブ
吉村 公男 (旧) 波多野浩一
- 相模原ゴルフクラブ
田土部勝昭 (旧) 松本 英一
- ブレジデンツカントリー倶楽部軽井沢コース
北村 進 (新)

倶楽部代表者

- アイビスゴルフクラブ
堀 健治 (旧) 高橋 俊郎
- 阿賀高原ゴルフ倶楽部
小野 敏憲 (旧) 近藤 義雄
- 秋山カントリークラブ
1名のみ 片山 八利 (旧)
- 芳賀カントリークラブ
中澤 靖 (旧) 舟橋 一芳
- 茨城ゴルフ倶楽部
安達 禮三 (旧) 安達 慎三
- 霞台カントリークラブ
井上真帆子 (旧) 古山高麗雄
三好 徹 (旧)
- カントリークラブ・ザ・レイクス
小坂善太郎 (旧)
- 東京国際カントリー倶楽部
山本 定省 (旧) 田村 幸男
- 府中カントリークラブ
吉村 公男 (旧) 波多野浩一
柴山 雄一 (旧) 松永 甫夫
- 伊勢原カントリークラブ
内田 具徳 (旧) 黄金井和彦
- 相模カントリー倶楽部
高木 邦雄 (旧) 講山 滋
- 相模原ゴルフクラブ
田土部勝昭 (旧) 松本 英一
鈴木千太郎 (旧)

支配人

- 阿賀高原ゴルフ倶楽部
小野 敏憲 (旧) 近藤 義雄
(総支配人)

イーストヒルゴルフクラブ

- (新) 渡辺 義治 (旧) 神田 剛
- 糸魚川カントリークラブ

- (新) 中島 達雄 (旧) 小室 久敏

胎内高原ゴルフ倶楽部

- (新) 佐藤 茂雄 (旧) 高田 元

都留カントリークラブ

- (新) 林 昭臣 (旧) 木岡 純一

下仁田カントリークラブ

- (新) 玉木 紀弘 (旧) 福嶋 幸治

城山カントリー倶楽部

- (新) 日向野 宏 (旧) 新川 秀雄

川越カントリークラブ

- (新) 矢野 博昭 (旧) 大和田勝弘

袖ヶ浦カントリークラブ

- (新) 高橋 正文 (旧) 佐藤 時雄

伊勢原カントリークラブ

- (新) 内田 具徳 (旧) 黄金井和彦

東京国際カントリー倶楽部

- (新) 上田 元泰 (旧) 田村 幸男

本厚木カントリークラブ

- (新) 小島 寂夫 (旧) 高橋 壽夫

会社名

- 佐久平カントリークラブ

- (新) 日本駐車ビル株

成田ゴルフ倶楽部

- (訂正) グリーンソリューション

HDCP

- ジェイ・セレモカントリークラブ



- ファイブエイトゴルフクラブ



所在地

船橋カントリー倶楽部

- (訂正) 白井市清戸703

TEL 047-497-0236 FAX 047-497-0245

東京事務所

茨城バシフィックカントリー倶楽部

- (新) 〒104-0061 中央区銀座8-12-15

八千代産商ビル6F

TEL 03-5550-1061 FAX 03-5550-1006